

平成27年度 第2回社会教育委員の会議 会議録

- 1 開催日時 平成27年12月22日（火） 9時30分～11時30分
- 2 開催場所 14A会議室
- 3 出席委員 16名
河田委員長，舟本副委員長，持田委員，稲木委員，今井委員，櫛淵委員，三村委員，松本委員，橋本委員，金田委員，高橋委員，加藤委員，小池委員，若園委員，増淵委員，塚原委員
- 4 会議の公開・非公開の別 公開
- 5 傍聴者 0名
- 6 内 容
 - (1) 報告事項
 - ① 平成28年宇都宮市成人式について
 - ② 第46回関東甲信越静社会教育研究大会群馬大会の参加報告について
 - ③ 平成26年度「宇都宮市読書活動推進計画」に関する施策事業の実績評価について
 - ④ 南図書館の指定管理者の指定について
 - (2) 協議事項
 - ① 平成28年度社会教育関係団体に対する補助について

7 発言の要旨

河田委員長	まず、報告事項①「平成28年宇都宮市成人式について」事務局から説明をお願いします。
事務局	【資料について説明】
河田委員長	ありがとうございました。 それでは何か、御意見・御質問等ありましたらお願いします。
今井委員	成人式の実施には、市から交付金が出ていると思いますが、その推移はどのようになっているのでしょうか。
事務局	成人式の実施については、25中学校区の実施委員会に交付金を交付しておりますが、前年度と比較すると減少しています。これは、新成人該当者数の減少や会場変更などが影響しております。
今井委員	新成人の数が減少しているということでしたが、交付金が減少したことで、地域

交流事業の実施において、事業の縮小などの影響が出ているということはないでしょうか。

事務局

交付金については、各中学校区の新成人の人数等から、式典や地域交流事業など基本的な事業が実施できる金額をあらかじめ交付しております。また、地域交流事業における地域独自のイベント、例えば写真撮影を多めに実施することや特産品の提供などについては、各実施委員会において協賛金を活用して実施しており、交付金が少ないという意見はない状況であります。

今井委員

地域の方々もがんばっていろいろな事業を実施しているので、市からもアイデアなどについて情報を提供していただいて、より良い成人式を実施できるように、ぜひ御協力をお願いします。

河田委員長

ありがとうございます。その他に、御意見等ありますでしょうか。

金田委員

今井委員からも意見がありましたが、地域ではいろいろ考えて地域交流事業をやっていますが、他の地域の情報は、なかなか得ることが出来ないのが現状です。他の地域の内容がわかれば、事業内容や協賛金等、いろいろ検討することも出来て、良い成人式になっていくと思いますので、ぜひ情報提供をお願いします。

河田委員長

ありがとうございます。

成人式の実施委員同士が集まる場というものはあるでしょうか。

事務局

各実施委員会の事務局である担当職員会議を随時実施しております。こうした場において地域ごとの地域交流事業の内容のフィードバックや意見交換を行っております。

河田委員長

各実施委員会同士が集まって意見交換をするなどの取組が可能であれば、情報も共有できるだろうし、もっと事業の広がりも出るのではないかなと思います。

事務局

実施委員会に参画いただいている新成人は、県外に在住している学生もいますので、各地域の実施委員を一同に集めるとなると、なかなか難しいところが現状であります。

河田委員長

ありがとうございます。他に何かありますでしょうか。

持田委員

生涯学習センター担当職員の打合せがあるとのことですが、成人式事業については、地域によって学校と地域との関わり方など様々な場合がありますので、準備などは、地域や学校とよく連絡を取って、柔軟な対応や効率的な進め方をお願いしたい。また、担当者も変わりますので、生涯学習課や生涯学習センターにおいても情

報伝達をしっかりとお願いしたいと思います。

事務局

成人式事業については、担当者会議を随時実施しておりますので、今後も各地域の状況や課題への対応など、円滑な事業の実施を図ってまいります。

河田委員長

成人式については、いろいろ貴重な御意見をいただきまして、今後、もっと良い内容になっていくと思います。

では、次の議題に移りたいと思います。

それでは、報告事項②「第46回関東甲信越静社会教育研究大会群馬大会の参加報告について」事務局から説明をお願いします。

事務局

【資料について説明】

河田委員長

今の報告にもありましたが、「人づくり」ということで、「どうやって人をつくっていくのか」というのは、全国どこでも課題となっています。宇都宮市においては、「人づくりフォーラム」においても30以上の市民団体が参加しておりますが、こうした取組を継続していくことで、地域教育の活性化が図られると感じました。しかし、参加者は高齢化しており、今後、どうやって幅広い年代にこうした社会教育活動に関わってもらえるかが課題であると思います。

また、近年においては、格差や地域コミュニティの問題など、地域においても様々な問題が発生しており、こうしたことから地域教育はますます重要であると思います。委員の皆様においても機会があれば、こうした大会にぜひ参加いただいて、いろいろな知識や情報を吸収いただければと思います。ありがとうございました。

その他に、何か御意見がありましたらお願いします。

稲木委員

先ほど「人づくり」ということで委員長からありましたが、中学校においては、「知・徳・体」というものが以前から重要であると言われております。そのなかでも「体」については地域の方々の力を取り入れることが可能ではないかと考えております。中学校においては、教員は部活動に多くの時間を必要としているので、地域にいるスポーツ経験者などが、部活動の指導者として活躍していただくことで、社会教育の活性化を図ることが可能となるのではないかと思います。

河田委員長

どうもありがとうございました。

県のスポーツ審議会でもそのような課題があるようですが、全国的にも学校と地域がどう関わっていくかというなかで、先生の役割が問われておりますので、今後、地域にあった仕組みが作られてくると良いと思います。

他に御意見がありましたら、お願いします。

それでは、次の議題に移ります。

報告事項③「平成26年度「宇都宮市読書活動推進計画」に関する施策事業の実績評価について」事務局から説明をお願いします。

事務局	【資料について説明】
河田委員長	<p>ありがとうございました。 何か御意見等ありましたらお願いいたします。</p>
金田委員	<p>確かに読書は小中学生にとって非常に重要で、PTAとしても親がしっかり本を読んでいれば、子どもも読むと思って勧めていきたいと思っております。そうした中で、読書の冊数と図書カードの登録数についてですが、高校生については、まずは図書カードの登録件数の増加を図るのが必要ではないかと思えます。例えば、新作本の概要を配布するなど、趣向を凝らした取組をとおして、まずは図書カードの登録促進を図ることが、読書の推進につながるのではないかと思います。</p>
事務局	<p>現在、高校生向けの情報誌として、高校生の編集委員による「MIYATEEN」を作成し、おすすめ本などを記載して市内の高校には配布しております。全校生徒に配布できるほどの部数は配布できておりませんが、高校生の「生の声」を掲載しておりますので、図書館としても非常に参考になっております。スマートフォンの普及などにより、読書をする高校生が少ない状況ではありますが、やはり本は創造性をかきたてるものでありますことから、今後においても高校と連携して、高校生の読書推進につながる事業を検討してまいります。</p>
河田委員長	<p>ありがとうございます。他に御意見ありますか。</p>
高橋委員	<p>資料の中で、「新刊資料や話題の資料を効率的に購入」とあるが、具体的に何か指標等があればお願いします。また、司書の専門性を生かすという点についてですが、専門性という点について、何か例示いただければと思います。</p>
事務局	<p>まず、資料の購入費ですが、図書館全体で見ると5年間ほど同程度で推移しておりますが、これまで南図書館の蔵書の充実に取り組んできたことから、中央図書館については、以前の6割くらいの購入費となっております。しかしながら、南図書館の蔵書もある程度整ってきたことから、今後は中央図書館も積極的に資料の購入が出来ると考えております。</p> <p>また、資料については、以前は全ての図書館に同じ本を揃えておりましたが、現在は、5箇所の図書館それぞれの特性を生かして効率的に購入しております。例えば、地域資料については中央図書館、子ども関係の資料については南図書館、ビジネス支援に関する資料は東図書館といったように、それぞれの図書館で主体的に購入しております。また、話題性のある本については、予約数がかかなりの数になりますので、ある程度、複数の本を購入しておりますが、それでも長期間お待たせすることもある状況です。</p> <p>次に、司書の専門性についてですが、図書館の司書は、主にレファレンスサービ</p>

スを中心に業務をしております。貸出や返却については、ある程度の定型業務であります。レファレンスサービスについては経験に基づく業務であります。これは、資料を使ってさまざまな相談に対応する業務であり、経験と専門性を有する司書能力によって、迅速・的確に対応することができる業務でありますので、専門的な業務は司書が担当しております。

河田委員長

ありがとうございます。

いろいろな施策が展開されておりますが、本を読む人が少ない、現状は本から離れてしまうツールがたくさんある等、本を読むことから離れていってしまう環境の中で、大変難しいことですが、図書館はもっと気軽に行ける場所になってもらえればと思いました。

それでは、よろしいでしょうか。

報告事項④「南図書館の指定管理者の指定について」事務局から説明をお願いします。

事務局

【資料について説明】

河田委員長

何か御意見等がありましたらお願いします。

今井委員

指定管理の1期目が、とても上手くいっているのではないかとと思いますが、課題となっている点は何かありますでしょうか。

事務局

南図書館については、利用者アンケートにおいても非常に高い満足度となっております。その中で、御要望として声があるのは、売店部分へのカフェコーナー等の導入についての御要望があるところです。こうした御要望については、2期目の指定管理者と検討して対応していきたいと思っております。

今井委員

カフェは全国的にいろいろ導入されているようですが、あまりそちらに注力されてしまうのもどうかと思いますので、ぜひバランスに配慮していただければと思います。

河田委員長

その他に何かありますでしょうか。

それでは、協議事項に入ります。

協議事項①「平成28年度社会教育関係団体に対する補助について」事務局から説明をお願いします。

(補助金交付団体の関係者は退席)

事務局

【資料について説明】

それでは、次第「3 その他」になります。
事務局より連絡事項について説明させていただきます。

【配布資料および、次回の会議日程について説明】

本日は長時間に渡ってのご審議，誠にありがとうございました。
以上をもちまして，平成27年度第2回社会教育委員の会議を閉会いたします。